

平成 29 年度 芸術文化事業の状況

- ・ギャラリー、視聴覚ホール(定員 198 名)、交流アトリウム、文化活動室、会議室、和室、日本自分史センター及び文化情報プラザは文芸館
- ・市民会館(定員 1,022 名)

1 自主文化事業

(1) 文芸系事業

事業名	日本自分史センター運営		
ミッション	4 地域コミュニティ形成—つながる		
日時	通年(月曜休み) 9:00~19:00、自分史相談は毎週火・金曜日 13:00~17:00		
会場	日本自分史センター		
相談員	芳賀倫子、安藤錦風		
入場料等	無料		
利用者数	576 人	利用率	—
		自主財源比率	0%
収入	0 円	助成金	—
		支出	1,157,246 円
データ	蔵書/8,040 タイトル 寄贈/101 タイトル 書籍貸出/204 冊 相談日数/96 日 相談件数/157 件		
事業内容	(1) 全国の自分史関連団体や個人の自分史作品を受け入れ、収集・保存・公開を行う。 (2) 専門の相談員が無料で行う「自分史相談」を定期的に開催し、文章の書き方から書籍発行まで、レベルや要望に合わせて相談に応じている。		
成果	公共施設が自分史事業を柱に行っているのは珍しく、全国各地から来館者が訪れている。「自分史相談」では、自分史を作りたい人はもちろん、自分史制作後の報告にも訪れている。自分史サークルの定期的な自分史制作活動は、地域交流の場を作りあげている。		
備考			

事業名	公募自分史		
ミッション	3 普及啓発—ひろがる		
募集期間	6/15(木)~9/15(金)		
監修	芳賀倫子(日本自分史センター相談員、シナリオライター)		
入場料等	無料		
利用者数	—	利用率	—
		自主財源比率	16.2%
収入	166,200 円	助成金	—
		支出	1,024,434 円
データ	応募数/133 作品 作品集への掲載数/42 作品 作品集/1 冊 1,000 円(税込)		
事業内容	自分史活動の振興と春日井市の PR を図るため、全国公募として開催し 15 回目を迎えた。今年度のテーマは「ここが私のターニングポイント ~転機が私を変えた~」とした。		
成果	応募数は 100 作品を超え、34 名の新規応募者を獲得した。テーマ設定により、人生の転機がはっきりとわかる文章が多く、読み応えのある作品集を刊行した。		
備考			

事業名	自分史講座		
ミッション	3 普及啓発ーひろがる		
会場	文化活動室、日本自分史センター、交流アトリウム、図書館ほか		
受講者数	計 79 名	受講率	— 自主財源比率 30.1%
収入	110,000 円	助成金	— 支出 365,503 円
事業内容	<p>(1) 「文章講座 明星への誘い」 4/12 (水)、19 (水) 13:30～15:30 ※全 5 回のうち 2 回を 29 年度に実施 受講料：3,000 円 受講者数 17 名 講師：安藤錦風 (日本自分史センター相談員、ノンフィクションライター)</p> <p>(2) 「エッセイ講座」 6/1～8/3 までの毎週木曜日 19:00～21:00 全 10 回 受講料：5,000 円 受講者数 22 名 講師：芳賀倫子 (日本自分史センター相談員、シナリオライター)</p> <p>(3) 「ガーランドでかざろう ぼく・わたしものがたり」 ガーランド配布期間：7/15 (土)～8/31 (木) 作品展示期間：8/1 (火)～31 (木) 27 日間開催 参加無料 参加者数 40 名 講師：安藤錦風 (日本自分史センター相談員、ノンフィクションライター)</p>		
成果	<p>(1) 「秋川雅史コンサート」で無料配布する、作品集へ掲載する自分史執筆のための講座。公演当日は秋川氏本人に作品集を手渡し、受講生の満足度は高かった。公演来場者が作品集を熱心に読む姿もあり、自分史の普及啓発に効果があった。</p> <p>(2) エッセイを書いたり、自分史やエッセイに関するイベントに参加したいという受講生が多かった。また、芳賀氏が講師を務めるエッセイクラブへ 10 名が参加を希望した。</p> <p>(3) 小学生対象の夏休み期間限定の“飾れる自分史”が制作できる自分史企画。これまで自分史に縁がなく、自分史センターの存在を知らなかった子どもたちやその親にセンターを知ってもらい、気軽に自分史に触れてもらえる機会となった。</p>		
備考			

事業名	第19回自分史フェスタ		
ミッション	3 普及啓発ーひろがる		
会場	文化活動室、交流アトリウム、視聴覚ホールほか		
受講者数	計1,811名	受講率	— 自主財源比率 4.3%
収入	10,000円	助成金	— 支出 230,854円
事業内容	<p>①プレ企画 エピソード募集「この場所、自分史」 1/30(火)～2/22(木) 21日間開催 参加無料 参加者数288名</p> <p>②自分史フェスタ 交流アトリウム自分史事業展示 3/20(火)～31(土) 11日間開催 参加無料 参加者数1,503名</p> <p>③自分史フェスタ スペシャルDAY 1日文章体験講座 3/25(日)</p> <p>①講座1「文章術編ー文章の疑問Q&A」10:30～12:00 受講料:500円 受講者数10名 講師:安藤錦風(日本自分史センター相談員、ノンフィクションライター)</p> <p>②講座2「エッセイ編」15:30～17:00 受講料:500円 受講者数10名 講師:芳賀倫子(日本自分史センター相談員、シナリオライター)</p>		
成果	<p>①「演劇×自分史 カスガイ創造プロジェクト」事業とのコラボレーション企画として、春日井市内で起こったエピソードを集めるため、交流アトリウムに春日井市の巨大地図を設置し、一言で書ける小さなメモシートを用意した。地図にエピソードを刺すのが好評を得て、288枚のシートが集まった。地図を見ながら思い出を語る多くの方々が見られ、気軽に参加してもらえる自分史の在り方を示すことができた。また、多数の自分史を一度に見せる手法に初めて取り組めた。</p> <p>②③自分史センターを知らない方へ向けて、不特定多数が集まる交流アトリウムで、自分史事業をアピールすることができた。また、スペシャルDAYの講座では、自分史相談やエッセイ講座を体験する機会を提供することができた。</p>		
備考			

(2) 美術系事業

事業名	文化・スポーツ都市宣言記念事業 愛知県美術館サテライト展示 特別展 熊谷守一展～木村定三コレクションより～		
ミッション	2 鑑賞－みせる		
日時	4/22（土）～5/14（日）9:00～16:30 20日間開催		
会場	ギャラリー（道風記念館でも同時開催）		
出品作家	熊谷守一		
入場料等	500円、2会場セット券900円、青少年鑑賞サポート 無料（349名）		
入場者数	2,823名	入場率	— 自主財源比率 45.6%
収入	539,682円	助成金	— 支出 1,183,775円
事業内容	洋画家・熊谷守一（1880～1977）の絵画と書を同時に楽しめる展覧会として、愛知県美術館が所蔵する木村定三コレクションを活用し、道風記念館では守一の書を中心に、文芸館では油彩画を中心に紹介し、2館合計で86点を展示した展覧会。 展示作品／「白猫」等油彩画29点、「富士秋景」等日本画15点、「裸」等彫刻3点、「蝸牛（銘 五月雨）」等陶器6点、計53点展示		
成果	道風記念館と連携し、愛知県美術館のコレクションの中核をなす熊谷守一の作品群を広く市民に紹介することができた。会期中は、60歳以上の市民が多く来場したほか、守一没後40年であったため、県外など遠方からの来場者もあった。青少年については、市内小学生の学校見学があったほか、図書館に学習に来た中高生が展覧会を楽しむ姿も見られた。		
関連事業	<p>(1) ギャラリートーク4/22（土）9:15～9:25 講師：古田浩俊（愛知県美術館副館長）</p> <p>(2) 講演会「愛知県美術館、木村定三、そして熊谷守一」 4/22（土）10:00～11:30 視聴覚ホール 参加無料（展覧会入場料別） 講師：古田浩俊（愛知県美術館副館長） 参加者数90名</p> <p>(3) 講演会「熊谷守一先生を撮影した3年間」 5/13（土）13:30～15:00 視聴覚ホール 参加無料（展覧会入場料別） 講師：藤森武（土門拳記念館理事） 参加者数90名</p>		
備考	共催／春日井市 後援／春日井市教育委員会 協力／愛知県美術館		

事業名	絵本作家 あべ弘士展～どうぶつ世界旅行～		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	2/24(土)～3/18(日) 9:00～17:00 20日間開催		
会場	ギャラリー、交流アトリウム		
出品作家	あべ弘士		
入場料等	大人 500 円、PiPi 会員・SNS 割引・高校生 300 円 青少年鑑賞サポート小中無料 (250 名)		
入場者数	1,921 名	入場率	— 自主財源比率 33.9%
収入	721,208 円	助成金	860,000 円 支出 4,662,126 円
事業内容	動物絵本作家 あべ弘士の個展。絵本原画・立体作品・タペストリーなど、多彩な作品 143 点を展示した。書籍と原画を一緒に展示したため、本をじっくり手に取って鑑賞する人が多く、滞在時間の長い展覧会となった。子ども向けの鑑賞ガイドを用意したところ、答えを探すためにじっくり鑑賞する子どもが多く、大人も子どもと一緒に楽しめる展覧会となった。		
成果	ベビーカーの貸出を始め、授乳室を完備したり、入場券の半券とはぐみんカード提示で、2 回目以降入場無料のリピーター特典を設けるなど、普段、美術館に足を運びにくい赤ちゃん連れの子育て世代が来場しやすいサービスを展開し、需要を掘り起こすことができた。また、館内のカフェ「アトリエ・コーヴォ」と連携して展覧会限定メニューを考案し PR に努めたり、アンケート回答者が参加できるガラポン抽選会を開催し、964 枚のアンケートを集めるなど、来場者の満足度を向上させる取り組みを行うことができた。		
関連事業	<p>(1) あべ弘士ワークショップ 親子でキリンを作ろう！ 2/24(土) 14:00～16:00 視聴覚ホール 材料費：1 体あたり 500 円 講師：あべ弘士 参加者数 71 名</p> <p>(2) あべ弘士トーク「旅と絵本と動物と」 2/25(日) 10:00～12:00 視聴覚ホール 参加無料 講師：あべ弘士 参加者数 156 名</p> <p>(3) 絵本読み聞かせ 3/3(土)、17(土) 11:00～11:30 ギャラリー 参加無料(展覧会入場料別) 講師：永井芳子他 2 名(読み聞かせボランティア) 参加者数 93 名</p>		
備考	助成／公益財団法人せとしん地域振興協力基金 後援／春日井市教育委員会 協力／絵本館、偕成社、講談社、小峰書店、文研出版、ギャラリープルプル、名古屋市東山動植物園、旭川市旭山動物園		

事業名	美術作家支援事業 山口百子展「絵画の息づかい、そして…」		
ミッション	6 人材育成ーはぐくむ		
日時	10/6（金）～15（日）10:00～17:00 9日間開催		
会場	ギャラリー		
出品作家	山口百子（日本画家）		
入場料等	無料		
入場者数	計750名	入場率	— 自主財源比率 3.2%
収入	11,000円	助成金	— 支出 344,178円
事業内容	春日井を拠点に活動する美術家・日本画家の山口百子の作品展。作家の作品と共に、アウトリーチ事業として2年にわたる市内小学校ワークショップの成果も併せて展示した。		
成果	昨年度開催したアウトリーチ事業から継続的に同じ作家を紹介することで、小学生から大人まで幅広い世代に日本画表現の面白さを伝えることができた。また、市内を拠点に活動する作家を取り上げることで、美大受験を控えた高校生が展覧会場に作家を訪ねるといった交流がみられた。		
関連企画	（1）山口百子 日本画ワークショップ「かわっていく時間と『小さな』絵」 10/8（日）13:30～15:30 文化活動室 参加料1,000円 参加者数11名		
備考			

（3）舞台系事業

事業名	生演奏と投影で綴る大作曲家の大傑作シリーズ Vol. 2 ベートーヴェン		
ミッション	1 創造一つくる		
日時	5/21（日）15:00～17:00		
会場	市民会館		
出演	茂木大輔（指揮）、名古屋フィルハーモニー交響楽団（管弦楽）		
入場料等	4,800円、青少年鑑賞サポート500円（91名）		
入場者数	918名【完売】	入場率	95.4% 自主財源比率 83.3%
収入	3,747,874円	助成金	— 支出 4,501,398円
事業内容	かすがい市民文化財団のオリジナル制作企画。ベートーヴェンの9曲の交響曲全ての抜粋と、一番有名な交響曲第5番「運命」を全楽章演奏。オーケストラ後方のスクリーンに投影されるリアルタイムな楽曲解説を見せることで、作曲の変遷をわかりやすく届けた。		
成果	全国でツアーを続ける“のだめ音楽会”のスピノフ企画の第2弾。漫画を使わないクラシックのコンサートとしてチケットが完売したのは、クラシック音楽が市民に浸透してきた成果だと言える。また、アンケート結果に「次はいつですか？」「次の作曲家は誰ですか？」などの声をいただけた。終演後の茂木氏のサイン会にも多くの人が並んだ。		
備考			

事業名	秋川雅史 コンサートツアー AMORE -アモーレー		
ミッション	4 地域コミュニティ形成-つながる		
日時	6/4 (日) 14:00~16:00		
会場	市民会館		
出演	秋川雅史 (歌手)、小島さやか(ピアノ演奏)、市民合唱団 (92名)		
入場料等	4,800円		
入場者数	937名	入場率 93.6%	自主財源比率 106.4%
収入	4,492,991円	助成金 -	支出 4,224,519円
事業内容	中高年層に絶大な支持のあるテノール歌手 秋川雅史のコンサートと、公募で集まった市民合唱団が地元合唱指導者の手引きによる練習の成果を、秋川氏と披露・共演した公演。有名歌手やオーケストラと市民合唱団とのコラボレーションは、今回で4回目となる。		
成果	合唱の盛んな当市で、クラシックのみならず日本の歌曲も披露していただいた。市民合唱団との共演もあって、生歌の魅力を伝えることができた。市民合唱団は全8回にわたる練習を経て、合唱そのものの歓びを分かち合ってもらった。		
関連事業	(1) 公募の市民合唱団 練習日：4/4、11、18、25、5/9、16、23、30 全て火曜日 13:30~15:00 リハーサル：6/3 (土) 13:30~15:00 本番6/4 (日) 11:30~18:00 計10日間開催 参加料：8,500円 (入場料含む) 参加者数92名		
備考			

事業名	松竹大歌舞伎 中村橋之助改め八代目中村芝翫襲名披露		
ミッション	2 鑑賞-みせる		
日時	7/23 (日) 昼の部 12:00~14:40 (972名入場) 夕方の部 16:30~19:10 (971名入場)		
会場	市民会館		
出演	中村芝翫、中村橋之助、中村福之助、中村梅玉 ほか		
入場料等	昼の部：S席7,500円、A席5,500円、B席3,500円 夕方の部：S席7,000円、A席5,000円、B席3,000円、青少年鑑賞サポート500円 (37名)		
入場者数	1,943名【完売】	入場率 95%	自主財源比率 133.0%
収入	12,523,354円	助成金 1,260,400円	支出 10,362,330円
事業内容	市民会館の夏の風物詩である歌舞伎公演。今回は中村芝翫、橋之助、福之助の親子同時襲名で話題をさらった。上演数の少ない芝翫型の熊谷陣屋や、ユーモラスな酒好きの霊獣、一門の覚悟を示す襲名披露口上など、多彩な演目が好評を博した内容であった。		
成果	発売早々に完売した。お客様のさらなる満足度向上を目指すため、本公演だけでなく普及啓発の目的で関連事業を多く開催した。毎年好評の葛西聖司による事前の演目解説は、歌舞伎の見方を深めるセミナーとして人気を博し、本公演の盛り上がりにつなげることができた。また、昼の部だけでなく夕方の部で、おくだ健太郎によるスイーツ付の解説会を行う		

	<p>など新しい試みを実施し、お客様の満足度向上に貢献した。例年、集客が伸び悩む夕方の部の販売促進につなげる足掛かりを作ることができた。教育的視点から青少年鑑賞サポートプログラムの周知を徹底し、昨年 20 名のところ、37 名まで申込みを増やすことができた。この一環として行った演目解説は、わかりやすく理解が深まったと、大変好評であった。</p>
関連企画	<p>(1) 葛西聖司の極付！歌舞伎セミナー 7/7 (金) 14:00～15:30 市民会館 入場料：500 円 ※春日井市民会館開催「松竹大歌舞伎」チケット提示で無料入場 講師：葛西聖司（伝統芸能解説者、元 NHK アナウンサー） 入場者数 450 名</p> <p>(2) 歌舞伎ソムリエの直前解説 7/23 (日) ①弁当付解説 10:30～11:30 ②スイーツ付解説 15:00～16:00 視聴覚ホール 入場料：①2,000 円 ②1,000 円 講師：おくだ健太郎（歌舞伎ソムリエ） 参加者数 121 名</p> <p>(3) 小学生・中学生・高校生向け演目解説 7/23 (日) 16:00～16:15 会議室 入場無料 講師：小松淳子（事業推進グループ プロデューサー） 参加者数 60 名</p>
備考	助成／文化庁 平成 29 年度「劇場・音楽堂等活性化事業」

事業名	ロシア国立ワガノワ・バレエ・アカデミー教師による 特別レッスンワークショップ		
ミッション	3 普及啓発ーひろがる		
会場	市民会館		
講師	ユーリヤ・カセンコーワ（教師）、ガリーナ・ベズグラヤ（ピアノ）		
参加者数	計 161 名	参加率	—
収入	992,100 円	助成金	599,420 円
		自主財源比率	71.2%
事業内容	<p>8/4 (金)、5 (土)、6 (日) 計 12 回</p> <p>①ジュニア 11:00～12:00 参加料：2,800 円/回 参加者数 66 名 参加率 73.3%</p> <p>②初級 13:00～14:30 参加料：9,500 円/3 回通し 参加者数 35 名 参加率 100%</p> <p>③中級 15:00～16:30 参加料：12,000 円/3 回通し 参加者数 29 名 参加率 96.6%</p> <p>④ヴァリエーション 17:00～18:00 参加料：4,000 円/回 参加者数 31 名 参加率 52%</p> <p>世界最高峰のバレエ・アカデミーの現役教師が特別指導するバレエのワークショップ。バレエ経験のある子ども、プロを目指す若手に分かれたクラスを設定し、ターゲットを明確化した指導で、市内近郊の若手バレエダンサーを育成・支援する。</p>		
成果	<p>クラスによっては定員を増設するほど人気があった。多くのアンケートに「これからもバレエを続けたい」「上手になりたい」等、前向きな意見を数多くいただいた。本場のレッスンを受けられたこと自体が、受講者のモチベーションを高めることにつながったと考える。</p>		
備考	助成／文化庁 平成 29 年度「劇場・音楽堂等活性化事業」		

事業名	四月は君の嘘 クラシックコンサート 2017		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	9/3 (日) 15:00~17:15		
会場	市民会館		
出演	小寺里奈 (ヴァイオリン)、古賀大路 (ピアノ)、NAOTO (ヴァイオリン)、河地恵理子 (ピアノ)		
入場料等	一般: 3,500円 U-25: 2,000円		
入場者数	521名	入場率	54.3%
		自主財源比率	38.5%
収入	1,190,216円	助成金	—
		支出	3,091,864円
事業内容	新川直司原作の人気漫画「四月は君の嘘 (以下、君嘘)」のアニメーション、映画に登場するクラシック音楽を生で聴くコンサート。一部の曲にはアニメーション映像が投影され、君嘘の世界観を楽しむことができた。		
成果	漫画に登場する音楽を聴くことができる、クラシックコンサートの入門編。君嘘ファンだけではなく、ゲスト NAOTO 氏のファンも多く来場し、若い世代が多く見受けられた。また、アンケートに、演奏だけでなく、トークも楽しめたという意見を多数いただいた。		
備考			

事業名	ダンスとラップ 島地保武×環 ROY 「ありか」		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	9/15 (金) 19:00~20:10 (127名入場) 9/16 (土) 14:00~15:10 (125名入場)		
会場	市民会館 (舞台上 定員 148名)		
出演	島地保武 (ダンサー)、環 ROY (ラッパー)		
入場料等	2,500円、青少年鑑賞サポート無料 (43名)		
入場者数	計 252名	入場率	85.1%
		自主財源比率	28.7%
収入	423,118円	助成金	—
		支出	1,476,061円
事業内容	28年度に愛知県芸術劇場がプロデュースした公演の再演。ダンサー・島地保武とラッパー・環 ROY によるライブパフォーマンスを、市民会館の舞台上舞台で上演した。		
成果	普段触れる機会の少ないラップとコンテンポラリーダンスというジャンルを、舞台と客席が近い特設ステージで鑑賞、体感してもらうことができた。愛知県芸術劇場の技術・制作スタッフと連携して事業運営を行い、お互いのノウハウを共有する機会が得られた。		
関連事業	(1) ①小学生向けワークショップ 8/17 (木) 15:00~16:30 会議室 講師: 環 ROY 参加無料 参加者数 5名 ②一般向けワークショップ 8/17 (木) 19:00~20:30 市民会館 (舞台上) 講師: 環 ROY 参加無料 参加者数 8名		
備考	共催/愛知県芸術劇場		

事業名	OKB 大垣共立銀行 presents 春日井まつり前夜祭 夏川りみコンサート 歌さがしの旅 2017 ～Acoustic Version～		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	10/20 (金) 18:30～20:30		
会場	市民会館		
出演	夏川りみ (歌)、醍醐弘美 (ピアノ)、姜小青 (中国古箏)		
入場料等	5,000 円		
入場者数	879 名	入場率 90.7%	自主財源比率 104.2%
収入	5,211,495 円	助成金 —	支出 4,999,740 円
事業内容	春日井まつり実行委員会から業務を請け負っている「春日井まつり前夜祭」。今年は「涙そうそう」を大ヒットさせ、一躍トップシンガーとなった夏川りみのコンサートを開催した。		
成果	アコースティック編成で歌声をじっくり聴かせる内容に、お客様は満足されたようであった。親しみやすいトークや、お客様と一緒に島唄を歌う賑やかな演出もあり、多くの来場者を元気づけ、笑顔あふれるコンサートとなった。		
備考	主催／春日井まつり実行委員会、春日井市 特別協賛／OKB 大垣共立銀行		

事業名	白石加代子女優生活 50 周年記念公演 笑った分だけ、怖くなる vol.2		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	11/19 (日) 17:00～19:00		
会場	市民会館		
出演	白石加代子、佐野史郎		
入場料等	4,000 円、青少年鑑賞サポート 500 円 (40 名)		
入場者数	939 名	入場率 96.9%	自主財源比率 101.8%
収入	2,423,122 円	助成金 379,972 円	支出 2,752,738 円
事業内容	映画やテレビで活躍する俳優・白石加代子と佐野史郎による朗読劇。小野寺修二の演出で、俳優が舞台狭しと動き回り、二人だけとは思えない工夫が感じられ、世界観の広がる舞台となった。		
成果	他事業との兼ね合いで、東部市民センター (495 席) から春日井市民会館 (1,022 席) に会場を変更。そこで友の会会員向けに、2 枚目が実質無料となる「笑った分だけ、安くなる」ペア券を設定した。また、図書館では関連本とあわせた展示、交流アトリウムでは俳優の等身大の顔はめパネルを設置し、公演を視覚的に PR した。このことで、2 倍の集客目標を達成することができた。		
備考	助成／文化庁 平成 29 年度「劇場・音楽堂等活性化事業」		

事業名	【共催】中部フィルハーモニー交響楽団 特別演奏会 春日井公演 あなたが決める名曲コンサート		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	11/23 (木・祝) 15:00~17:00		
会場	市民会館		
出演	大友直人(指揮)、内匠慧(ピアノ)、中部フィルハーモニー交響楽団		
入場料等	S席:4,300円、A席:3,300円、青少年鑑賞サポート500円(48名)		
入場者数	890名	入場率 87.4%	自主財源比率 1167.7%
収入	251,613円	助成金 —	支出 21,548円
事業内容	指揮者・大友直人が選りすぐりの交響曲・序曲を提示し、その中から市民が聴きたい曲を選んでプログラムが決定したコンサート。春日井広報大使の内匠慧がラフマニノフのピアノ協奏曲第3番を演奏した。		
成果	市民からの100通を超える聴きたい曲のリクエストによって、交響曲ドヴォルザーク第9番「新世界より」、序曲チャイコフスキー「エフゲニ・オネーギン」が選ばれた。出演者の知名度により青少年鑑賞サポートの利用も多く、幅広い世代に向けて質の高いクラシックコンサートを提供することができた。		
備考	共催/認定NPO法人中部フィルハーモニー交響楽団		

事業名	ミュージカル「忍たま乱太郎」第9弾 ~忍術学園陥落!夢のまた夢!?~		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	2/3 (土) ①14:00~16:00 (925名入場)、②18:00~20:00 (926名入場) 2/4 (日) ③13:00~15:00 (958名入場)		
会場	市民会館		
出演	吉田翔吾、久下恭平、佐藤智広、山木透、栗原大河 他		
入場料等	7,000円		
入場者数	計2,809名【完売】	入場率 97.7%	自主財源比率 102.6%
収入	17,732,888円	助成金 —	支出 17,283,934円
事業内容	漫画やアニメで広く知られる「忍たま乱太郎」が、2.5次元ミュージカルとなり、愛知県初上陸として春日井市民会館で上演した。今公演のメインキャストは忍術学園の5年生のメンバー。春日井公演は、東京ドームシティシアターGロッソで1月初旬から中旬にかけて計20回上演されたものの地方公演として開催され、春日井公演が千秋楽となった。		
成果	地元だけでなく遠方から多くのお客様が訪れたため、視聴覚ホールにクロークを設置したり、アトリウムに休憩コーナーを設ける等の工夫を行ったところ、お客様より大好評の声を頂いた。また、春日井市で2.5次元ミュージカルできる会館があるというアピールにもなった。加えて、サイン付き花束の扱いやチケットの取り扱い、SNS対応など、大きな人気公演ならではの対応に、財団スタッフのスキル向上へとつながった。		
備考			

事業名	【共催】西本智実&ロイヤルチェンバーオーケストラコンサート		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	2/17(土) 16:00~17:40		
会場	市民会館		
出演	西本智実(指揮)、毛利文香(ヴァイオリン)、ロイヤルチェンバーオーケストラ(管弦楽)、前田友希(ナレーション)		
入場料等	8,500円		
入場者数	710名	入場率	71.0%
		自主財源比率	439.1%
収入	375,091円	助成金	—
		支出	85,430円
事業内容	ロイヤルチェンバーオーケストラ音楽監督であり、ヴァチカン国際音楽祭を大成功に導いた世界的指揮者・西本智実による、オーケストラコンサート。フルオーケストラとはまた違うチェンバーミュージック(室内楽)ならではのシンフォニーを届ける。		
成果	世界で活躍する一流指揮者の生演奏を春日井で聴くことができる、貴重な機会となった。また、市庁舎地下駐車場が保守点検で使用できなかったため、事前に清水屋に立体駐車場の利用協力を仰ぐことができ、民間企業と連携を模索するきっかけとなった。		
備考	共催/株式会社ジーコーポレーション 協力/株式会社清水屋		

事業名	親子のためのファミリー・ミュージカル ピノキオ～または白雪姫の悲劇～		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	8/27(日) 14:00~16:00		
会場	東部市民センター		
出演	小此木まり、池田有希子、石鍋多加史、治田敦、西原純、岡田誠、ほか		
入場料等	一般:3,000円 子ども(4歳以上、高校生以下):500円		
入場者数	447名【完売】	入場率	95.7%
		自主財源比率	33.2%
収入	742,539円	助成金	234,101円
		支出	2,938,215円
事業内容	いたずら好きのピノキオが冒険をしながら、様々な童話のキャラクターと出会い成長してゆく、宮本亜門 脚色・演出の親子ミュージカル。KAAT 神奈川芸術劇場制作のテント版として作られた本公演は、全国巡回のためにホール版に変更され、全国12ヶ所の劇場が連携して上演した。		
成果	夏休みの子どもの向け公演として多くの注目を集め、チケットは短期間で完売した。凝った舞台装置や出演者が客席に数多く出現する演出は、東部市民センターの規模にぴったりで、劇場内の一体感が増し、親も子ども目を輝かせてミュージカルの世界に惹き込まれていた。		
備考	協賛/サンマルシェ 助成/文化庁 平成29年度「劇場・音楽堂等活性化事業」		

事業名	雀々・市馬 東西会		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	3/4 (日) 14:00~16:10		
会場	東部市民センター		
出演	桂雀々、柳亭市馬、三遊亭わん丈(二ツ目)、鏡味仙志郎(太神楽)、柳亭市坊(前座)		
入場料等	3,500円、青少年鑑賞サポート500円(17名)		
入場者数	472名【完売】	入場率	96.3%
		自主財源比率	81.5%
収入	1,515,622円	助成金	—
		支出	1,859,760円
事業内容	柳家小三治の後任として落語協会会長を務める柳亭市馬と、2016年に芸歴40周年を迎えた桂雀々。東西の人気落語家の競演をお届けし、幅広い世代の方に落語公演を鑑賞する機会を提供した。		
成果	チケットは完売、会場は大爆笑の渦であった。二ツ目と前座も実力派であり、太神楽とともに会場を沸かせていたので、寄席の賑やかさを堪能できる事業となった。		
備考			

事業名	かすがい日曜シネマ		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
会場	視聴覚ホール(定員144名)		
入場料等	前売800円、当日1,000円		
入場者数	計1,975名	入場率	76.1%
		自主財源比率	109.6%
収入	1,477,456円	助成金	—
		支出	1,348,378円
事業内容	<p>舞台芸術や音楽をテーマとした良質なミニ・シアター系の映画を上映。映画上映前には職員によるミニ・トークを開催。市内ボランティア団体による、シーンボイスガイド付きの上映も行っている。</p> <p>(1) 5/28(日)第61回「トランボ ハリウッドに最も嫌われた男」①134名、②140名、③32名 (2) 7/9(日)第62回「オケ老人!」①139名、②137名、③134名 (3) 9/24(日)第63回「歌声にのった少年」①108名、②109名、③30名 (4) 11/26(日)第64回「天使にショパンの歌声を」①141名、②133名、③79名 (5) 1/21(日)第65回「戦場のメロディ」①126名 ②132名、③36名 (6) 3/11(日)第66回「カノン」①136名、②138名、③91名</p> <p>各回共に①10:15~、②13:45~(シーンボイスガイド付き上映)、③16:45~</p>		
成果	リピーターも多いが、作品によっては新規のお客様にもご来場いただいております。作品選定やミニ・トークについて好評いただいております。①②の回は毎回ほとんど完売の人気を誇る。映写業務を当財団スタッフで行うことによる業務の見直しを行った結果、今年度から黒字事業へと転換した。		
備考	協力/ボイスケイン、ボイスさくら		

事業名	昼コン&夜コン&はじめての音楽会		
ミッション	3 普及啓発ーひろがる		
会場	交流アトリウム		
入場料等	無料		
入場者数	計 3,460 名	入場率	—
		自主財源比率	27.7%
収入	272,584 円 (寄附金)	助成金	支出 982,750 円
事業内容	<p>お喋りを交えた気軽に聴ける無料コンサート。月2回、土曜日の昼と金曜日の夜に開催。子どもと一緒に生の音楽を聴く経験ができる、はじめてのコンサートも実施。クラシックだけではなく、ポップスなど幅広い曲を楽しむことができた。</p> <p>(1) 4/8 (土) 14:00~15:00 第205回 文化・スポーツ都市宣言記念「よろこびの詩に花をそえて」 入場者数：400名 出演：<春日井広報大使>飯田みち代 (ソプラノ)、釣由美 (ピアノ)、大竹広治 (ヴァイオリン)、清水綾 (ヴァイオリン)、小林伊津子 (ヴァイオリン)、森三千代 (チェロ)</p> <p>(2) 4/21 (金) 19:00~20:00 第206回「音楽の宝箱! ~今宵はクラリネット三昧~」 入場者数：160名 出演：クアルトクラリネットアンサンブル 工藤雄司、久保浦侑子、伊藤美樹、小栗静華、松本有可、渡辺希、岩崎友紀、石塚雅浩 (クラリネット)</p> <p>(3) 5/13 (土) 14:00~15:00 第207回「春の日は過ぎゆく」 入場者数：300名 出演：サラマンカホール・レジデント・カルテット 西村洋美、波馬朝加 (ヴァイオリン)、太田奈々子 (ヴァイオリン)、紫竹友梨 (チェロ)</p> <p>(4) 5/26 (金) 19:00~20:00 第208回「初夏の夜ジャズ」 入場者数：270名 出演：中越理恵子 (テナーサクソ)、西川麻子 (ピアノ)</p> <p>(5) 6/10 (土) 14:00~15:00 第209回「チェロは語る」 入場者数：320名 出演：小縣歩、野村友紀、山際奈津香 (チェロ)</p> <p>(6) 6/23 (土) 19:00~20:00 第210回「鳥獣戯画・竹森笹頼」 入場者数：220名 出演：竹森笹頼 所克頼 (ソプラノサクソフォン)、竹内幸枝 (アルトサクソフォン)、ささはらなおみ (ピアノ)、伊藤玉木 (コントラバス)</p> <p>(7) 9/2 (土) 14:00~15:00 第211回「姉妹×姉妹の饗宴」 入場者数：315名 出演：波馬朝加 (ヴァイオリン、ヴァイオリン)、波馬朝光 (ヴァイオリン)、福本真弓 (ピアノ)、福本真琴 (チェロ)</p> <p>(8) 9/29 (金) 19:00~20:00 第212回「涼しくさせない秋」 入場者数：210名 出演：Koji 吉バンド 小森絹子 (ヴァイオリン)、吉田浩司 (ヴァイオリン)、太田一也 (チェロ)、本多 Taco-bow 正典 (パーカッション)</p> <p>(9) 10/14 (土) 10:30~11:15 親子のためのはじめての音楽会~くまくんとうさちゃんのおはなしコンサート~ 入場者数：395名 出演：つじ村ふみ恵 (うた)、川添由梨香 (ピアノ)、川添陽子 (おはなし)</p> <p>(10) 10/14 (土) 14:00~15:00 第213回「音楽によるロマンチック飛行~イタリア編~」 入場者数：220名</p>		

	<p>出演：つじ村ふみ恵 (ソプラノ)、川添由梨香 (ピアノ)、川添陽子 (ナビゲーター)</p> <p>(11) 10/27 (金) 19:00~20:00 第214回「秋風にのせて~フルート、オーボエ、ピアノの響演~」 入場者数：210名 出演：松原雅美 (フルート)、小室真美 (オーボエ)、西濱由有 (ピアノ)</p> <p>(12) 11/11 (土) 14:00~15:00 第215回「中部フィルメンバーによる金管5重奏のひとつとき」 入場者数：240名 出演：田中誠剛、中家亜里紗 (トランペット)、森隆一郎 (ホルン)、大室直樹 (トロンボーン)、谷口史洋 (チューバ)</p> <p>(13) 11/24 (金) 19:00~20:00 第216回「飛躍する二つの才能」 入場者数：200名 出演：丹羽穂乃佳、藤原直也 (ピアノ)</p>
成 果	<p>第205回は文化スポーツ都市宣言記念として広報大使の飯田みち代が登場し、400名もの来場者があった。昨年度の第200回からますます認知度が高まり、各公演の入場者・寄附金も増加している。特に平成28年4月から、ワンコイン500円で受け付けていた寄附金を1円単位に変更し且つプログラムに寄附金の告知を入れたことで、寄附金が約2.5倍増加した。コンサートは、実力派から春日井市にゆかりのある演奏家などの演奏を聴く機会を提供できた。また「はじめての音楽会」は、近隣の保育園、幼稚園などにチラシを配布したこともあり、約400人の入場者で賑わった。</p>
備 考	

事業名	ギタリスト・井草聖二ミニコンサート		
ミッション	3 普及啓発ーひろがる		
日 時	11/14 (火) 19:00~20:00		
会 場	交流アトリウム		
入場料等	無料		
入場者数	270名	入 場 率	—
収 入	—	助 成 金	—
		支 出	アウトリーチ事業より支出
事業内容	『千本桜』『Isn't She Lovely』のような有名曲ほか、井草聖二のオリジナル曲を演奏。アウトリーチ事業に合わせて開催するコンサートは今年で3回目となった。		
成 果	3年連続で行ってきたミニコンサートは、毎年好評を得ている。生演奏はもちろん、トークにも定評がある。アウトリーチで訪問した学校の生徒が、家族を誘ってコンサートに来る姿が見受けられ、世代を超えて音楽を楽しむ時間を提供できた。		
備 考			

事業名	若手音楽家支援事業		
ミッション	6 人材育成ーはぐくむ		
日時	第1回ワンコインコンサート「BULL」 3/16(金) 19:00~21:00		
会場	視聴覚ホール		
出演	BULL 川地立真、瀧彬友、三輪一登、大嶋漢、小田和来(サクソ)、山田信晴(打楽器)		
入場料等	500円		
入場者数	198名	入場率 100%	自主財源比率 23.1%
収入	22,274円	助成金 ー	支出 96,344円
事業内容	<p>地域に根差した音楽家を育てることを目的に、若手音楽家を3年間にわたり活動支援するプログラム。29年度は登録アーティスト選定からの始動の年となった。</p> <p>支援計画1年目のワンコインコンサートのトップバッターは、個性豊かなメンバーによるサクソアンサンブルユニット「BULL」。春日井在住のメンバーも多く、故・根本正治先生主催の「ワンコインコンサート」にも出演した経験がある。笑いのある楽しい演奏で、サクソフォンと打楽器の魅力、音楽の楽しさを存分に届けた。</p>		
成果	当日は超満員の人で会場が溢れかえるほどの大盛況となった。会場で募った寄附金額が、基金の取り崩し額を上回るという初回から好スタートをきることができた。		
備考	40,612円(寄附金)		

事業名	茂木大輔の生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会 全国ツアー		
ミッション	1 創造ーつくる		
日時 会場	<p>①7/20(木) 18:30~20:30 調布市グリーンホール 大ホール</p> <p>②8/5(土)、6(日) 15:00~17:00 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール</p> <p>③8/18(金) ≪高橋多佳子・ピアノ版≫①13:00~15:00 ②19:00~21:00 上田市交流文化芸術センター(サントミュージゼ) 小ホール</p> <p>④10/29(日) 15:00~17:30 上田市交流文化芸術センター(サントミュージゼ) 大ホール</p>		
出演	茂木大輔(指揮)、高橋多佳子(ピアノ)ほか		
入場料等	ー		
入場者数	6,242名	入場率 ー	自主財源比率 1,590.9%
収入	525,000円	助成金 ー	支出 33,000円
事業内容	平成18年から続く、春日井発「のだめ音楽会」の全国ツアー。舞台監督、映像作成・オペレータを当財団職員で行っている。これまでに92公演、延べ135,633人名動員。		
成果	各地のホールと連携ができ、お客様にも喜んでいただけた。クラシック音楽では、どのホールからも他のコンサートより来場者が多いと好評である。今年は上田市が加わり、来年度以降にも繋がる館のひとつとなった。		
備考	企画/茂木大輔、公益財団法人かすがい市民文化財団		

事業名	演劇×自分史 カスガイ創造プロジェクト		
ミッション	1 創造一つくる		
講師	有門正太郎（俳優）		
入場料等	無料		
参加者数	計 333 名	入場率	— 自主財源比率 50.5%
収入	9,000 円	助成金	1,100,000 円 支出 2,194,286 円
事業内容	<p>演劇を地域に根付かせることと、「自分史」の普及啓発を目的とし、本事業は三か年計画で展開する、その初年度。アウトリーチ事業「かすがい どこでも アート・ドア」も実施。</p> <p>(1) 地域の中の演劇を考えるワークショップ～ファシリテーターにできること～ 4/19（水）19:00～20:30 視聴覚ホール 参加無料 参加者数 17 名</p> <p>(2) 夏休みワークショップ「あつまれ！ルーツ探検隊」 7/27（木）13:30～16:00 会議室 参加無料 参加者数 14 名</p> <p>(3) 【演劇×自分史】ワークショップ 会議室、視聴覚ホール 3/10（土）、11（日）、17（土）、18（日）、20（火）、21（水・祝）22（木）23（金）、24（土）〔平日〕19:00～21:00・〔土日祝〕14:00～17:00〕9日間開催 参加料：1,000 円 参加者数 9 名 ファシリテーター 2 名</p> <p>(4) 【演劇×自分史】発表会「この場所、自分史」3/25（日）14:00～14:45 入場無料 参加者数 11 名 入場者数 79 名</p>		
成果	<p>地元の演劇人や演劇部顧問の先生を集め、4月にファシリテーター養成講座を開催。参加者の中から事業のアシスタントとして同行してくれるアーティストが4名集まった。彼らにはワークショップやアウトリーチ事業で実践経験を積んでもらい、継続的な協力関係を築くことができた。下半期はアウトリーチ事業を継続し、地元アーティストが活躍できる環境づくりとスキル向上の場を設けた。演劇作品の創作発表では、自分史に馴染みのなかった方に、身近に感じていただく良い機会となった。また、自分史センター相談員の先生方を始めとした関係者からも、自分史と演劇の親和性を感じていただくことができた。</p>		
備考	助成／一般財団法人地域創造 平成 29 年度地域の文化・芸術活動助成事業		

事業名	財団サポーター2017		
ミッション	4 地域コミュニティ形成一つながる		
参加者数	計 303 人	参加率	— 自主財源比率 41.2%
収入	42,500 円	助成金	— 支出 103,100 円
事業内容	来場者をもてなすボランティアとして、当財団の自主文化事業に参加。また、当財団の良き理解者・支援者を増やしていく側面もある。		
実績	活動公演数 30 回／研修等 3 回／登録人数 37 人		
成果	今年の新規登録者は3名。研修にも積極的に参加していただき、お客様からも「いつも温かい雰囲気を出迎えてくれる」と好評を得ている。		
備考			

(4) アウトリーチ事業

事業名	アウトリーチ事業「かすがい どこでも アート・ドア」		
ミッション	3 普及啓発ーひろがる 6 人材育成ーはぐくむ		
入場料等	無料		
参加者数	計 847 名	入 場 率	— 自主財源比率 0%
収 入	0 円	助 成 金	— 支 出 515,144 円
事業内容	<p>各ジャンルのアーティストを市内の小中学校を派遣し、演奏やワークショップを通して「特別なアートの時間」を届ける事業。文化・芸術を身近に体験する機会を提供した。</p> <p>(1) 美術／講師：山口百子（美術作家） 参加者数 146 名</p> <p>① 5/15（月）勝川小学校 6 年生 1 組：1, 2 限 2 組：3, 4 限</p> <p>② 5/16（火） ” 3 組：1, 2 限 4 組：3, 4 限</p> <p>※ワークショップでの成果を春日井市図書館に展示</p> <p>7/19（水）～9/3（日）9:00～20:00 入場無料</p> <p>(2) 演劇／講師：有門正太郎（俳優）</p> <p>① 9/8（金）八幡小学校 3 年生 3, 4 限 参加者数 37 名</p> <p>② 10/5（木）3, 4 限 丸田小学校 5 年生 1 組</p> <p>6（金）5, 6 限 丸田小学校 5 年生 2 組 参加者数 73 名</p> <p>③ 10/6（金）3, 4 限 押沢台小学校 6 年生 参加者数 35 名</p> <p>④ 10/17（火）2, 3 限 篠原小学校 6 年生 2 組</p> <p>⑤ ” 4, 5 限 篠原小学校 6 年生 1 組 参加者数 67 名</p> <p>(3) 音楽／講師：トリオノート（ピアノ、ヴァイオリン、チェロ） 参加者数 161 名</p> <p>① 10/12（木）4 限 勝川小学校 4 年生 2 クラス合同</p> <p>② ” 5 限 勝川小学校 4 年生 2 クラス合同</p> <p>(4) 音楽／講師：井草聖二（ギタリスト） 参加者数 164 名</p> <p>① 11/14（火）5 限 藤山台中 1 年生</p> <p>② ” 6 限 藤山台中 3 年生</p> <p>(5) 文芸／講師：鈴掛真（歌人）</p> <p>① 11/8（水）3, 4 限 藤山台中学校 2 年生 2 クラス 参加者数 71 名</p> <p>② 12/6（水）2～4 限 岩成台中学校 1 年生 3 クラス 参加者数 93 名</p>		
成 果	<p>各アーティスト共にアウトリーチに定評がある。当財団では初派遣となった(3)(5)のアーティストも、3人とは思えない迫力の演奏や、歌人の丁寧な添削で、学校側の満足度は非常に高いものとなった。今年度より文芸系部門のアウトリーチが加わり、ジャンルの幅が増えた。</p>		
備 考			

(5) 施設サービス系事業

事業名	かすがい文化フェスティバル		
ミッション	3 普及啓発ーひろがる 4 地域コミュニティ形成ーつながる		
会場	文芸館、市民会館、屋外広場		
参加者数	計 948 名	入場率	— 自主財源比率 9.2%
収入	89,500 円	助成金	— 支出 972,152 円
事業内容	<p>これまで市で実施してきた文化体験道場を昼涼みワークショップ等と合体し、「かすがい文化フェスティバル」として実施。スペシャルデイは一日体験講座で、工作や書道、和楽器等を小学生に教えた。市内外で活動するアーティストを講師に、多彩な芸術文化に触れるワークショップも開催。芸術性の高いアニメーション映画を野外で鑑賞する映画会も実施。</p> <p>(1) スペシャルデイ 7/30 (日) 参加者数 422 名</p> <p>① オープニングコンサート 出演 : Lotti Ensemble</p> <p>② 14 講座 28 回 ①10:00~ ②11:00~ ③13:00~ ④14:00~ 無料~500 円</p> <p>講師 : 春日井市文化協会の 12 団体、春日井市美術協会の 2 団体</p> <p>(2) ワークショップ 交流アトリウム</p> <p>① 「段ボールで迷路とミニスマートボールを作ろう！」</p> <p>8/3 (木) ①14:00~ ②14:30~ ③15:00~ ④15:30~</p> <p>参加料 : 100 円 参加者数 95 名 講師 : 村田祐一郎</p> <p>② 「手作り人形で人形劇を上演しよう！」</p> <p>8/10 (木) 14:00~17:00 参加料 : 500 円 参加者数 19 名</p> <p>講師 : かすがい人形劇フェスティバル実行委員会</p> <p>③ 「野菜や葉っぱをおしてハンカチを作ろう！」</p> <p>8/17 (木) 13:30~15:30 参加料 : 300 円 参加者数 28 名</p> <p>講師 : 矢野美代子 (悠遊会)</p> <p>④ 「みんなで作った夢の島に上陸しよう！」</p> <p>8/24 (木) ①10:00~ ②13:00~ ③15:00~</p> <p>参加料 : 100 円 参加者数 97 名 講師 : 竹田尚史・榎原由依 (美術家)</p> <p>⑤ 「私とサボテン写真館」</p> <p>8/31 (木) ①10:30~ ②13:30~ 参加無料 参加者数 27 名</p> <p>講師 : フジマツ (アートプログラムユニット)</p> <p>(3) 夕涼みシネマ「ソング・オブ・ザ・シー 海のうた」</p> <p>8/19 (土) 19:00~20:40 屋外広場 入場無料 参加者数 260 名</p>		
成果	<p>スペシャルデイは、今年から事前申込み制にし、参加団体の負担を軽減する工夫を行った。馴染みのない材料や表現方法を体験できるワークショップは、参加者のオリジナリティを自由に表現できる機会となった。また、参加者同士や講師との交流を促したことで、一人の世界に入りがちな工作体験に広がりを持たせることができた。</p>		
備考	協力/人形劇団むすび座、後藤サボテン、ポップコーンカフェ 3 BLOCKS		

事業名	スタインウェイピアノ開放します！		
ミッション	3 普及啓発ーひろがる		
日時	8/15 (火) 10:00~17:15 16 (水)・17 (木) 8:45~17:15 の内、1 団体 60 分×20 枠 1/5 (金) 10:00~17:15 6 (土) 8:45~17:15 の内、1 団体 60 分×13 枠		
会場	市民会館		
参加者	公募による抽選で選ばれた市民		
入場料等	利用料 1,000 円、録音サービス料 500 円		
参加者数	計 171 名	入場率	— 自主財源比率 82.3%
収入	40,000 円	助成金	— 支出 48,600 円
事業内容	市民会館のスタインウェイピアノを、ホールを貸し切って 1 時間自由に弾ける企画。毎年好評をいただいております、今年度は 8 月と 1 月の 2 回開催。		
成果	8 月に 72 組、1 月に 52 組の応募があり、抽選で選ばれた 33 組の家族や友人たちが、練習や撮影、家族コンサートなど、ピアノとの時間を楽しんだ。世界の名器と言われるスタインウェイピアノの音色を存分に堪能し、1,000 席規模の大舞台に立つ感動を提供できた。		
備考			

事業名	かすがい人形劇フェスティバル 20 周年特別公演 糸あやつり人形劇団みのむし〜マリオネットと腹話術で楽しむ人形劇の世界〜		
ミッション	5 活動支援ーささえる		
日時	12/9 (土) 10:30~11:30		
会場	視聴覚ホール		
出演	糸あやつり人形劇団みのむし		
入場料等	前売 おとな 1,000 円、こども 500 円 当日 おとな 1,200 円、こども 600 円		
入場者数	136 名	入場率	90.7% 自主財源比率 38.9%
収入	63,091 円	助成金	— 支出 162,000 円
事業内容	20 周年を迎えたかすがい人形劇フェスティバルの前日に行った特別公演。市内ではなかなか見ることのできない、糸あやつりをメインに活動する人形劇団の公演を行った。		
成果	マリオネットの人形劇や関西特有の掛け合いによる腹話術を上演した。市民はもとより、人形劇フェスティバル実行委員会にも人形劇文化の奥深さや楽しさを感じていただき、今後の活動への活力とすることができた。		
備考	協力／かすがい人形劇フェスティバル実行委員会 後援／春日井市、春日井市教育委員会		

事業名	【共催】かすがい人形劇フェスティバル 2017		
ミッション	5 活動支援—ささえる		
日時	12/10 (日) ①10:00~11:50 (146名入場) ②14:00~15:50 (126名入場) ③12:00~13:50 (作って遊ぼうコーナー)		
会場	視聴覚ホール、交流アトリウム (作って遊ぼうコーナー)		
出演	①人形劇団とんとんとん、人形劇団よろずや〇、おほしさまたんけんたい、人形劇団パン ②人形劇団じゃん・けん・ぼん、愛知県立大学人形劇サークルとびねこ、知立山車文楽保存会本町人形連、人形劇団むすび座 ③くれよんの会、さくらぶんこ (中部大学すくすく隊)		
入場料等	①②前売 おとな 1,000 円、こども 500 円、一日券おとな 1,700 円、こども 800 円 当日 おとな 1,200 円、こども 600 円 ③無料		
入場者数	計 272 名	入場率	—
収入	—	助成金	—
自主財源比率	—	支出	—
事業内容	今回で 20 周年を迎えたかすがい人形劇フェスティバル。市内外のプロアマ人形劇団が混合で公演を行った。また、午前午後の合間には交流アトリウムで工作のワークショップ「作って遊ぼう」コーナーを開催。同じく交流アトリウムで過去の出演者の用いた人形やパンフレットの展示を行い、文芸館が人形劇に彩られた一日となった。		
成果	当財団から実行委員会へ運営ノウハウの提供や展示指導を行い、円滑に事業をすすめられた。また、今回から大学生グループが 1 団体新規参加し、更には初めて伝統文化文楽の公演を行い、市民に人形劇文化の幅広さを伝えることができた。今後 25 回、30 回を目標に活動していく上で、良いスタートを切れた公演であった。		
備考	主催／愛知県人形劇協会、かすがい人形劇フェスティバル実行委員会		

事業名	【共催】第 25 回春日井市高等学校吹奏楽フェスティバル		
ミッション	5 活動支援—ささえる		
日時	12/24 (日) 14:00~16:20		
会場	市民会館		
出演	春日井高校、春日井西高校、春日井南高校、春日井東高校、春日井商業高校、高蔵寺高校、中部大学春日丘高校 各吹奏楽部		
入場料等	無料		
入場者数	834 名	入場率	81.6%
収入	—	助成金	—
自主財源比率	—	支出	—
事業内容	春日井市内の 7 高校の吹奏楽部が一堂に会し、学校の垣根を越えてステージに上がり熱演を繰り広げる、全国的にも珍しい演奏会。		
成果	各高校の生徒から選出された「吹奏楽フェスティバル実行委員会」が主体となり、当財団が様々な視点からの制作レクチャーを行い、連携して実施した。学校の垣根を越えて協力し合い場内を盛り上げる本公演は、客席がほぼ満員になり大盛況であった。		
備考	主催／春日井市高等学校吹奏楽協議会 (幹事校／中部大学春日丘高等学校)		

事業名	【共催】 にとっておきのクリスマスコンサート		
ミッション	5 活動支援—ささえる		
日時	12/24 (日) 17:30~19:15		
会場	交流アトリウム		
出演	春日井児童合唱団		
入場料等	無料		
入場者数	300名	入場率	—
収入	—	助成金	—
		自主財源比率	—
事業内容	春日井児童合唱団による毎年恒例のクリスマスコンサート。ジュニア、シニアに加え、成人した合唱団OB・OGも出演し、交流アトリウムでクリスマスソングを歌う。		
成果	クリスマスイブ当日ということもあり、多くの来場者が訪れ、好評を得た。図書館に立ち寄った人も足を止めて聴き入っていた。		
備考	主催／春日井児童合唱団		

事業名	舞台制作セミナー		
ミッション	5 活動支援—ささえる		
受講料等	無料		
受講者数	計25名	入場率	—
収入	0円	助成金	—
		自主財源比率	0%
事業内容	春日井市内の吹奏楽部と演劇部を対象に、照明・音響・舞台技術の基礎知識とその必要性を伝えるセミナー。それぞれの公演で応用できる、具体的なテクニックについても指導した。 (1) 高校吹奏楽版 1/20 (土) 9:30~12:00 市民会館 受講者数12名 (春日井西高校、春日井東高校、高蔵寺高校) (2) 高校演劇版 2/7 (水) 17:00~19:30 視聴覚ホール 受講者数13名 (春日井西高校、春日井高校、春日井商業高校)		
成果	受講者は、自校の定期演奏会や発表会に向けて熱心にメモを取り、財団スタッフに積極的に質問をしながら舞台技術について学んでいた。		
備考			

事業名	アトリウム音楽祭		
ミッション	5 活動支援ーささえる		
会場	交流アトリウム		
入場料等	無料、参加料は運営協力費として1団体5,000円		
入場者数	計2,672名	入場率	— 自主財源比率 105.2%
収入	160,000円	助成金	— 支出 152,096円
事業内容	<p>市民参加型の音楽発表会。市内外で活躍しているアマチュア音楽団体が日頃の成果を発表。</p> <p>(1) [秋] 9/9 (土)、10 (日) 10:00~17:45 出演者 16 団体 (261 名) 入場者数 1,214 名 琴古流尺八長月会、唱歌の会、津軽三味線響、フルール、PuananiAloha、ムジカ女性 アコーディオンアンサンブル、春日井市能楽連盟、子育て支援団体あんじゅ、オカリ ナ・スプリング・ウェル、ライリッシュ春日井オカリナクラブ、コーラスグループラ ルゴ、オカリナ♪和〜なごみ〜、春日井男声合唱団、M ál a carte、邦楽ラウンジ、 八吹</p> <p>(2) [春] 3/3 (土)、4 (日) 10:00~17:45 出演者 16 団体 (427 名) 入場者数 1,458 名 琴修会春日井支部玉川教室、ライリッシュ名古屋オカリナクラブ、二胡・にこ・サー クル、△オカリナ、コーラスグループさくら、オ、ジイサズ、ハーラウ・ワア・カ ウルア・ハアリ・マオヒ、子育て支援団体あんじゅママコーラス&ママアンサンブル、 混声ふるさと、ウクレレユニット・レインボーガーデン、現代邦楽会 春日井、フィ オ カマレイ カアピキ、Anointed Gold mass choir、ハーモニー グリーングラ ス、Kahawainani Hula Halau、J Trio</p>		
成果	和楽器から洋楽器、合唱にフラダンスなど、様々な音楽団体が舞台に立った。プロの司会者と音響スタッフがバックアップするため出演団体の満足度も高く、舞台と客席が共に楽しめるイベントとなった。		
備考			

(6) 広報系事業

事業名	広報宣伝事業		
収入	0円	支出	2,061,682円
		自主財源比率	0%
事業内容	より多くの市民に当財団の活動を“認知・理解・支援”していただくために、広告掲載やパブリシティ活動により、新聞・テレビ・雑誌などの他社媒体への露出を図り、当財団及び事業のPRを行った。		
実績	≪記事掲載≫中日新聞45回、朝日新聞12回、毎日新聞2回、読売新聞1回、岐阜新聞1回、中日スポーツ1回、信濃毎日新聞2回、ラジオ2回、ケーブルテレビ4回、雑誌タウン誌30回 ≪新聞折込≫中日新聞朝刊3回(春日井・小牧・守山)、朝日新聞朝刊1回(市外近郊)		
成果	「大作曲家の大傑作シリーズ」の茂木大輔氏(指揮者)と「秋川雅史コンサートツアー」の秋川雅史氏(歌手)の名古屋キャンペーンを実施。新聞やラジオで告知を行い、集客につながった。展覧会情報については熊谷守一没後40年にあわせた記事掲載となり、市外、県外からの来場者を獲得できた。8月、1月、2月と3回に分けて新聞折込を実施。友の会PiPi及びWeb会員の新規入会につながった。		
備考			

事業名	情報発信事業		
収入	80,000円	支出	8,224,426円
		自主財源比率	1.0%
事業内容	自主事業を中心とした文化芸術情報及び施設に関する情報を誌面やHP、映像等の自社媒体で広く発信した。		
実績	(1) 情報誌「FORUM PRESS」発行≫ 隔月10,000部、6回発行 ≪FORUM PRESS レポーター≫ 登録人数17名、活動公演数19回、研修等2回、参加人数延べ87名、誌面掲載記事12本、HP掲載記事53本 (2) HP運営・随時更新・ワークショップ募集フォーム新規作成・スマホ対応 ≪SNS運営≫・twitterフォロワー数798 ≪春日井駅デジタルサイネージ用映像制作≫ ・PR情報：随時更新・映像デザインや音源のリニューアル		
成果	情報誌「FORUM PRESS」は昨年度実施したリニューアルを受け継ぎ、地域にまつわるコンテンツを充実させた。市民の声を反映する「FORUM PRESS レポーター」は昨年度より登録者数が増え、随時活動を行っている。デジタルメディアの興隆が進み、オンラインチケット利用数の増加やワークショップの募集等でもメールでのやり取りが増える中、ホームページのスマホ対応画面の作成やワークショップ受付のための募集フォーム作成等、利用者の利便性を向上した。また平成27年度より“書のまち春日井”をPRする取り組みとして、道風記念館と連携し、各自主事業と書にまつわるコラムを掲載したチラシを作成し、公演来場者に配布している。これまでに16回実施、うち、今年度は6回配布した。		
備考			

事業名	インフォメーション事業		
収入	247,680円	支出	963,962円 自主財源比率 25.7%
事業内容	文化情報プラザを拠点に、自主事業の情報提供及び市内外の文化芸術情報の提供を行っている。チケットのWeb販売は平成28年2月に導入した票券管理システムにより、コンビニエンスストアでの発券およびクレジットカード決済が可能になった。交流アトリウムでは自主事業の映像での情報提供を随時行ったり、事業PRのために「四月は君の嘘 クラシックコンサート2017」の漫画やコンサート内容を掲示するスペースを作ったり、「笑った分だけ怖くなる vol.2」の顔ハメパネルを作成し、展示した。		
実績	《文化情報プラザ運営》9:00~18:00 《チケットWeb販売数》1,842件、3,575枚、16,273千円 《チケット入金明細》・カード決済581件1,091枚 ・セブンイレブン決済604件1,071枚 ・現金4,388件8,179枚 ・郵便振替75件152枚		
成果	チケットのWeb販売は昨年に比べ約1.5倍で、毎年徐々に増加している。		
備考			

事業名	友の会事業		
収入	2,773,742円	支出	1,478,582円 自主財源比率 187.6%
事業内容	自主事業のチケット先行予約や割引など、各種優待サービスを受けられる有料の会員制度を平成14年度から継続して運営。昨年度と比べて会員数は対前年比119.9%で推移している。提携ショップは36店舗加盟している。平成28年2月よりWebのみチケット先行予約が可能な無料のWeb会員制度を導入。2,995名が加入している。		
実績	《友の会PiPi 有料会員数》1,289名 内、新規入会376名、更新913名 内訳：レギュラー会員（年会費2,000円）1,069名、ゴールド会員（年会費3,000円）218名、プラチナ会員（年会費10,000円）2名 《無料Web会員数》2,995名		
成果	これまでハガキ抽選のみとしていた友の会の「松竹大歌舞伎」先行予約を、ハガキ抽選及びWeb先行予約を初めて実施した。ハガキでは席が選べなかったが、Webでは先着順で席が選べるようにしたところ、約3割の会員がWebへ移行し、利便性が向上した。また、昨今の悪質なチケットの高額転売などへの対策として、9/1よりプラチナ会員の新規入会のみ受付停止とした。		
備考			

2 受託文化事業

事業名	文化・スポーツ都市宣言記念 第66回春日井市民美術展覧会		
日時	8/19(土)～27日(日) 9:00～16:30 9日間開催		
会場	市庁舎、ギャラリー、視聴覚ホール		
入場料等	出品無料		
入場者数	11,060名	入場率	—
		自主財源比率	—
受託料	4,694,654円	助成金	—
		支出	4,694,654円
事業内容	<p>市内在住、在勤、在学者を対象とした公募美術展覧会。審査会員による参考作品も同時に展示。開会式及び表彰式を8/19(土)に開催した。</p> <p>応募/計793作品</p> <p>日本画28作品、洋画150作品、書278作品、彫塑工芸38作品、写真178作品 委嘱作品65作品、参考作品56作品</p> <p>賞/市長賞、財団理事長賞、教育委員会賞、市議会議長賞、観光コンベンション協会会長賞、奨励賞、委嘱特別賞</p>		
成果	多くの市民に作品発表及び鑑賞の場を提供している。また、公開審査やギャラリートークを開催し、市民が美術作品への理解を深める機会を提供した。		
備考	主催/春日井市、春日井市教育委員会 後援/中日新聞社		

事業名	文化・スポーツ都市宣言記念 第37回春日井市短詩型文学祭		
日時	1/27(土)～2/12日(月・休) 9:00～17:00 15日間開催		
会場	交流アトリウム		
入場料等	出品無料		
入場者数	4,023名	入場率	—
		自主財源比率	—
受託料	1,354,040円	助成金	—
		支出	1,354,040円
事業内容	<p>市内在住、在勤、在学者を対象として、文化活動の普及・振興を図ることを目的とした市民公募の文学祭。作品展では、特別賞受賞作品45作品と審査員、実行員による作品も同時に展示。表彰式を1/28(日)に開催した。</p> <p>応募/22,914作品 入賞/760作品 作品集/750円</p> <p>【一般の部】短歌、俳句、川柳、狂俳、詩 【小・中学生の部】短歌、俳句、川柳、詩</p> <p>賞/市長賞、財団理事長賞、市議会議長賞、教育委員会賞、文化協会賞、秀逸、優秀(小・中学生のみ)、佳作</p>		
成果	市民の文芸作品の発表作品と鑑賞の場を提供。市内小・中学生の応募も昨年度より1,600作品増加している。		
備考	主催/春日井市、春日井市教育委員会、春日井市文化協会		

3 共催事業

事業名	文化・スポーツ都市宣言記念 小野道風公奉賛 第69回全国書道展覧会「道風展」		
日時	【春日井展】10/28(土)～11/5(日) 9:00～16:30 9日間開催 【名古屋展】12/5(火)～10(日) 9:30～18:00 6日間開催(最終日は17:00まで)		
会場	【春日井展】市庁舎、ギャラリー、道風記念館、観音寺 【名古屋展】名古屋市民ギャラリー栄 展示室8		
入場料等	出品料 第1～4部 5,000円 第5部 3,000円 学生条幅の部 1,300円 学生半紙の部 400円		
入場者数	5,179名	入場率	—
収入	—	助成金	—
自主財源比率	—	支出	—
事業内容	日本三跡の一人、小野道風の偉業を讃え開催する全国公募の書道展覧会。開会式を10/28(土)、表彰式を11/3(金・祝)に開催した。 応募/6,499点 第1部(漢字)165点、第2部(かな)91点、第3部(近代詩文)51点 第4部(少字数)56点、第5部(小品)1点 一般部合計364点 学生条幅の部809点、学生半紙の部5,326点 学生部合計6,135点		
成果	本展は書道愛好家の鍛練の場、書道教育の振興の場として書道という日本の伝統文化の裾野を広げる役割を果たすだけでなく、明日の書壇を担う逸材を輩出する登竜門の役割も果たしている。また、春日井市は「書のまち春日井」を標榜し、書道文化の振興に力を入れており、特色ある春日井文化の推進を図る核となる事業である。		
備考	主催/春日井市、春日井市教育委員会、小野道風公遺跡保存会、中日新聞社 後援/愛知県教育委員会 協賛/一般社団法人春日井市観光コンベンション協会		

事業名	文化・スポーツ都市宣言記念 2017 春日井市民第九演奏会		
日時	12/3(日) 15:00～16:40		
会場	市民会館		
出演	指揮:岸本沙恵子 独唱:飯田みち代(ソプラノ)、早川朋子(アルト)、松本薫平(テノール)、片桐直樹(バス) 管弦楽:春日井市交響楽団 合唱:春日井市民第九合唱団 合唱指導:松下 伸也		
入場料等	A席:1,500円 B席:1,000円		
入場者数	790名	入場率	77.2%
収入	—	助成金	—
自主財源比率	—	支出	—
事業内容	市民参加による毎年恒例の第九演奏会。指揮を岸本氏が務め、昨年まで指揮を振っていた井村誠貴氏は音楽監督としてプレトークも行った。		
成果	238名の市民公募の合唱団が舞台に立ち、熱唱した。今年からチケット販売に当財団の票券管理システムを導入、遠方者でも購入しやすくなった。		
備考	主催/春日井市、春日井市教育委員会、春日井市民第九演奏会実行委員会 共催/春日井市交響楽団、春日井市民第九合唱団		

4 協力事業

事業名	ニュータウンきずな事業 どんぐり芸術文化劇場 石川綾子ヴァイオリンコンサートツアー “ジャンルレス THE BEST”		
ミッション	2 鑑賞－みせる		
日時	2/12 (月・祝) 15:00～16:45		
会場	東部市民センター		
出演	石川綾子 (ヴァイオリン)、森丘ヒロキ (ピアノ)		
入場料等	3,000 円、青少年鑑賞サポート 500 円 (33 名)		
入場者数	396 名	入場率	80.0%
		自主財源比率	103.7%
収入	930,000 円	助成金	—
		支出	897,097 円
事業内容	全豪No.1 ヴァイオリニストの称号をもち、世界各地で活躍する実力派ヴァイオリニスト、石川綾子によるコンサート。YouTube で、クラシックからボーカロイド曲まで幅広いジャンルを弾きこなし、そのビジュアルからも若い世代に人気を誇る石川綾子の全国ツアーを「ニュータウンきずな事業」の一環として招致し、地域の幅広い世代にホールに来るきっかけをつくった。		
成果	普段ホールには足を運ばない世代が多くみられた。東部市民センターの職員とともに運営したため、公演運営に慣れていない職員への指示出し等を行った。公演は物販コーナーも充実しており、来場者の満足度は高いものになった。		
備考	主催／春日井市東部市民センター		

事業名	文化・スポーツ都市宣言記念事業 森脇正人展 — 生の鼓動を描く		
日時	11/23 (木・祝) ～12/10 日 (日) 10:00～16:30 16 日間開催		
会場	ギャラリー		
入場料等	無料		
入場者数	2,749 名	入場率	—
		自主財源比率	—
収入	—	助成金	—
		支出	—
事業内容	春日井市ゆかりの日本画家・森脇正人氏が改組新第 3 回日展にて、文部科学大臣賞を受賞した記念に、春日井市が文化・スポーツ都市宣言記念事業として展覧会を開催した。市内企業所蔵作品も含め、合計 43 作品が展示した。		
成果	当財団は制作協力という形で、作家とコーディネーターとの連絡調整を行うなど、学芸員業務を行った。多くの来場者に、春日井市ゆかりの作家の日本画作品をご覧いただくことができた。		
関連事業	(1) 開会式 11/23 (木・祝) 10:00～10:15 参加無料 参加者数 80 名 (2) ギャラリートーク 11/23 (木・祝) 10:15～11:00、25 (土)・26 (日)・12/2 (土)・3 (日) 13:00～14:00 参加無料 参加者数 253 名		
備考	主催／春日井市、春日井市教育委員会		

5 職員派遣

派遣事業名 愛公文セミナー I・II・III	
日 時	6/13 (火)、8/29 (火)、11/14 (火) 各日共に 10:00~17:00
会 場	愛知芸術文化センター
主 催	愛知県公立文化施設協議会
派遣職員名	米本一成 (チーフマネジャー)
派遣事業名 就職ガイダンス「音楽業界就職セミナー」	
日 時	7/20 (木) 14:50~16:20
会 場	名古屋芸術大学
主 催	名古屋芸術大学
派遣職員名	岡田知子 (総務グループ スタッフ)
派遣事業名 舞台人材養成ラボ 2017 舞台芸術お仕事ナビ	
日 時	8/5 (土) 13:30~16:00
会 場	愛知芸術文化センター
主 催	愛知県芸術劇場
派遣職員名	山川愛 (広報コミュニケーショングループ兼総務グループ マネジャー)
派遣事業名 フロントスタッフ養成講座	
日 時	8/20 (日) 13:30~15:00
会 場	武豊町民会館
主 催	武豊町民会館
派遣職員名	小松淳子 (事業推進グループ プロデューサー)
派遣事業名 丸善セミナー「エンゲキことはじめ vol.3」	
日 時	10/12 (木) 19:00~20:30
会 場	丸善 名古屋本店
主 催	丸善名古屋本店
派遣職員名	山川愛 (広報コミュニケーショングループ兼総務グループ マネジャー)
派遣事業名 フロントスタッフ業務研修	
日 時	11/12 (日) 14:00~16:30
会 場	小牧市市民会館
主 催	一般財団法人こまき市民文化財団
派遣職員名	小松淳子 (事業推進グループ プロデューサー)
派遣事業名 SUAC 自治体文化財団マネジメント講座・公開セミナー	
日 時	12/19 (火) 13:30~16:30
会 場	つくば国際会議場
主 催	公立大学法人静岡文化芸術大学
派遣職員名	米本一成 (チーフマネジャー)
派遣事業名 舞台芸術人材養成ラボ 技術習熟プログラム「劇場職員セミナー」	
日 時	1/10 (水) 10:00~12:00、13:30~15:30、1/11 (木) 17:30~19:00
会 場	名古屋市青少年文化センター
主 催	愛知県芸術劇場
派遣職員名	山川愛 (広報コミュニケーショングループ兼総務グループ マネジャー)

相馬加奈子、鈴木史子（広報コミュニケーショングループ スタッフ）	
派遣事業名	全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会 2018
日 時	1/17（水）15:30～17:30
会 場	国立オリンピック記念青少年総合センター
主 催	公益社団法人全国公立文化施設協会
派遣職員名	米本一成（チーフマネジャー）
派遣事業名	平成 29 年度全国公立文化施設協会東海北陸支部第 2 回支部研修会
日 時	1/18（木）13:30～17:00
会 場	瑞浪市総合文化センター
主 催	公益社団法人全国公立文化施設協会 東海北陸支部
派遣職員名	山川愛（広報コミュニケーショングループ兼総務グループ マネジャー）
派遣事業名	「劇場と子ども 7 万人プロジェクト」に関する意見交換会
日 時	2/27（火）13:30～16:30
会 場	愛知芸術文化センター
主 催	愛知県芸術劇場
派遣職員名	山川愛（広報コミュニケーショングループ兼総務グループ マネジャー）